

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	4019	(H.26)No.	4019
-----------	------	-----------	------

事務事業名	交通安全施設整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	維持管理室	田中 悟	

会計区分	事業コード	391001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	交通安全施設整備事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 交通安全施設費	交通安全施設整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施 策	2	道路整備
	小 施 策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
交通安全施設の整備により、安全な道路環境の形成に努めます。
事業内容
安全で快適な通行を確保するために、道路反射鏡・防護柵・区画線等の交通安全施設を整備します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・道路反射鏡 設置 8基 移設 2基 補修 11基 ・区画線 補修 3,060m ・ガードレール 設置 15m ・街路灯 設置 1基 ・その他 1式	・道路反射鏡 設置 8基 移設 0基 補修 12基 ・区画線 補修 4,000m ・ガードレール 設置 80m ・街路灯 設置 5基 ・その他補修は随時	・道路反射鏡、防護柵、区画線、街路灯の設置及び補修	・道路反射鏡、防護柵、区画線、街路灯の設置及び補修	・道路反射鏡、防護柵、区画線、街路灯の設置及び補修

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	6,000千円	6,000千円	6,300千円	6,500千円	6,700千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 6,000	6,000	6,300	6,500	6,700
人工数					
職員	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,125千円	1,125千円	1,125千円	1,125千円	1,125千円
①+②総事業費	(0千円) 7,125千円	7,125千円	7,425千円	7,625千円	7,825千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
市道のセンターライン等消えている箇所が多くあることや、カーブミラー設置要望も多く、予算面でも対応しきれっていません。	引き続き、安全な交通環境を確保するために交通安全施設の整備を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	既存道路の安全性向上に向け取り組むことができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	要望箇所については今後地元自治会等と調整を行い検討を行います。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
緊急性や整備効果を考慮した計画的な事業実施と安全確保に向けて事業を拡大していく必要があります。	